

平成 26 年 第 8 回臨時会

岩見沢市教育委員会会議録

平成 26 年 11 月 12 日 開会

平成 26 年 11 月 12 日 閉会

岩見沢市教育委員会

平成26年 第8回臨時会
岩見沢市教育委員会会議録
(平成26年11月12日)

○本委員会に付議した議件

- 1 議案第57号 平成26年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」
への市町村別結果の掲載について

そ の 他

○本委員会に出席した者

委 員 長	武 藏 輝 彦
委 員	秋 山 信 也
委 員	大 橋 弘 道
委 員	佐々木 和 子
教 育 長	舩 甚 和 俊

教 育 部 長	名 和 田 勉
子育て支援推進担当次長	鈴 木 栄 基
学 校 教 育 課 長	加 藤 信 浩
指 導 室 長	兼 平 晃 成
事務局学校教育課総務係長	武 田 弘 毅
事務局学校教育課総務係	虎 谷 淳

午後 5 時 1 0 分 開会

○武蔵委員長 それでは、ただ今から平成 2 6 年第 8 回教育委員会臨時会を開催いたします。

本日の署名委員につきましては大橋委員さん、お願いをいたします。

初めに、議案に対する提案理由について 説明をお願いします。

○名和田教育部長 議案第 5 7 号 平成 2 6 年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載についての提案理由を説明いたします。

北海道教育委員会から再度の依頼がありました、平成 2 6 年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について、ご審議を願うものであります。

以上です。

○武蔵委員長 それでは、日程番号 1、議案第 5 7 号 平成 2 6 年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について を審議いたします。

説明をお願いいたします。

○舩甚教育長 以前、教育委員会でお話ししましたように、全国学力・学習状況調査の結果について、岩見沢市では市民の方にきちんと説明責任を果たすとともに、子どもたちの学力を保障してあげられるよう取り組んでいるところです。その中で今年度は、市民の方により分かりやすくということで、数値により速報で公表しております。また各小中学校においても自校の責任において、より保護者や子どもたちに分かりやすく公表してくださいという形で動いておりました。

岩見沢市民に対してしっかり説明責任を果たしておりますことから、北海道版結果報告書への市町村別結果の掲載につきましては、同意しないということで道に報告しておりました。この度、北海道教育委員会から、何とか道の課題を各市町村で共有しながら頑張っていきたいので、岩見沢市も公表することについて同意するよう再度の要請がありました。

岩見沢市が現在公表している以上の内容の資料を道が求めているわけではなく、当市が公表している内容の一部を資料として提出していただければということでした。序列化ということについての議論は残るかと思いますが、北海道の子どもたちの学力を向上させるために岩見沢市の資料が少しでも役に立つのであれば、何とか道に協力して進めていきたいということで、これに同意することについて提案させていただいております。

なお、ここにある資料には、学力テストの目的・意義、公表にあたっての北海道教育委員会のあり方、それから市町村教育委員会の留意点等の資料も掲載されております。

以上です。

○武蔵委員長 ただ今、議案第 5 7 号に対する説明がございました。一旦は公表しないということで道教委に報告してございますが、再度何とか掲載させてほしいと要請があったことから、これに対してどのように考えていくのかということ、審議したいと思います。

委員の皆さんからご意見等ありましたらお願いいたします。

○秋山委員 教育長が言われましたとおり、従来、岩見沢市は学力テストの結果について

きちんと市民に公表しておりますことから、北海道版結果報告書への掲載までは必要ないのではないかという方針で来たわけですが、道から要請が再度あったということで、私は序列化につながらないのであれば公表しても問題ないのではないかと思います。そのような主旨はきちんと道にも理解してもらうということが必要ではないかと思います。

○武蔵委員長 他にご意見ございますか。

○大橋委員 まず、私の考えの結論から申し上げますと、先ほど説明のあった主旨を理解して再度の依頼に応えるということについては賛成でございます。以前この委員会において意見をまとめた時には、岩見沢市教育委員会としても岩見沢市民の皆さんに分かりやすい形で公表しているし、保護者市民に責任を持つという岩見沢市教育委員会の態度が明確でしたので、道教委の結果報告書には掲載をしないということについて、その時点では賛成しておりました。

今回再度の依頼があったということで、その主旨が北海道としての課題を共有し、今後の北海道の子どもたちの学力向上につなげていきたいということですから、それならば協力していくということに十分賛同できると判断いたしました。

ただ、かねてからこの委員会で協議してきましたように、公表することにより市町村別の序列化ですとか、学校別の序列化につながるということであれば、調査の本来の主旨から外れますので、決してそういうことにならないように十分配慮していただきたいと思います。あくまでも北海道の子どもたちの学力向上につなげるために、今回の再度の依頼を受けて協力していくということで賛同したいと思います。以上です。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。北海道の子どもたちの学力向上につながるのであればということをお前提として、さらには序列化につながるようなことにならないよう意見を付してそのうえで了解ということですね。

○佐々木委員 私も秋山委員や大橋委員と同意見です。岩見沢市教育委員会としては、説明責任を果たしていると思うのですが、この度、再度の依頼が道からあったということで、資料を活用し、一部公表しても構わないと思います。

○武蔵委員長 はい、皆さん同じようなご意見だと思います。私もひと言お話ししておきたいのですが、岩見沢市は公表している以上、公表したことに責任を持って学校現場の教育をどう改善していくか、それから家庭との連携をどうしていくかということについて、具体的に学力向上に対する対策を打ち出していると、私は思っています。今回、道教委が全道分をまとめて公表するにあたって、課題を共有して北海道の子どもたちの学力向上を目指していくということですが、それが具体的にどういう形になるのかという点が見えないので、前回は同意することはないだろうという気持ちでありました。もともと目的は分かっていますので、同意すること自体はよろしいのですが、地域の状況に応じた学力が公表されるわけですから、それに対して道教委としてどのような人事的な配慮や予算的な配慮など、その辺も含めてどういうふうにやってくれるのか。きっとそういう面も配慮いただけるのではないかという期待を込めて、その上で資料を提出してほしいと思います。

皆さん、条件付きではございますが、道に対して結果を公表することについて同意するということでした。結果の公表により、序列化につながることはないよう、可能であれば、意見を付して回答していただきたいと思います。

結論としては、再度の要請に対しては同意するというようお願いしたいと思います。

○舩甚教育長 よろしいでしょうか。今日配布しました資料に、道で公表する基本フォーマットというものがあります。その後ろに事例1から事例3まで、3通りのパターンが示されました。いずれのパターンにしましても、岩見沢市教育委員会が市民に公表している内容です。道教委の方にはどのパターンで掲載してもよいとお話ししてよろしいでしょうか。

○武蔵委員長 はい、今教育長から提案がありましたが、公表の仕方についてはどのパターンでも構わないということですのでよろしいですか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 はい、それではそのようをお願いいたします。

○舩甚教育長 はい。新しく作って提出する資料はありません。以上でございます。

○武蔵委員長 はい、それではよろしいですね。議案第57号につきましては以上のように決定をさせていただきます。

続きましてその他に移ります。委員の皆様から何かございませんか。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 なければ、事務局から何かありますか。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 ないようでございますので、以上をもちまして、第8回教育委員会臨時会を終了させていただきます。

ご苦労さまでした。

午後5時26分 閉会

岩見沢市教育委員会会議規則第16条の規定により、ここに署名する。

署名委員